**２０２２年度（令和４年度）青森県水球チーム青森県（高校）代表規約**

一般社団法人青森県水泳連盟水球委員会

**Ⅰ　２０２２年度（令和４年度）派遣試合**

本規約は、青森県（高校）代表（以下、「県代表」という。）の編成を定めるものである。現在、下記大会への出場を検討している。

１　東北総合体育大会　　青 森 県【７月３０日（土）～３１日（日）】

２　国民体育大会　　栃 木 県【９月１０日（土）～１３日（火）】

**Ⅱ　県代表選手団編成方針（選手基準）**

本規約により選出される２０２２年度（令和４年度）青森県に在住の中学校２年生から高校３年生（２００５年４月２日～２００９年４月１日までに生まれた者）を対象とし、次の基準に基づいて編成する。

１　県代表選手団は、礼儀を尊び規律を遵守し、活力ある青森県（高校）を代表するにふさわ

しく、行動・言動に注意できる選手・役員をもって編成する。また、各チームスタッフ及

び保護者は申し込みを提出した時点で県代表の規律に同意したものとする。

２　県代表選手は、次の基準に照らして選考する。

１）青森県水泳界の期待に応えうる競技力を持つ者の中から、以下の目標大会で入賞及びメ

ダル獲得を目指す為の能力を有する者を選考する。なお、入賞及びメダル獲得の目標大

会は、次の優先順位とする。

1. 第１順位の目標　２０２２年国民体育大会上位入賞
2. 第２順位の目標　２０２２年東北総合体育大会優勝
3. 第３順位の目標　各種大会での上位入賞

２）「１）」の能力とは、選手個人の能力だけでは判断せず「県代表スタッフが目指す強化方

針」への理解度、選手のチームへの貢献度、他の選手との協調性や調整能力等、チーム

としての最大の能力を発揮できるという視点から総合的に判断する。

３）過去１年間に次の１つに合致する者、あるいは過去１年間より前に次の１つに合致する

行為を複数回行った者は選考しない。ただし、青森県水泳連盟水球委員会（以下、「水

球委員会」という。）が、当該選手に特段の事情を認めた場合はこの限りではない。

1. 県代表選手行動規範を遵守できなかった者
2. 青森県水球チームの監督・コーチ・スタッフの指示に従わなかった者
3. チームワークを乱す行動や言動を取った者
4. その他、県代表チームの目標に対して不利益と思われる行動及び言動を取った者

**Ⅲ　代表選手の選考方法**

１　選考方法

１）水球委員会が県代表選手を選考する。その内部手続きは次のとおりとする。

1. 県代表監督は、水球委員会強化部会（以下、「水球強化部会」という。）に対して、

県代表選手案を提案する。

1. 水球強化部会は水球委員会に対して、県代表選手案を提案する。
2. 水球強化部会及び水球委員会における選考は、満場一致を原則とするが委員の意見

が分かれた場合は、多数決をもって決定する。

２）県代表選手は、国体への出場選手は１１名、その他の大会はエントリー数による。ま

た、遠征や強化合宿等には全選手を引率する。

３）県代表選手の選考は所属のチームを問わず、次の大会等における各選手の能力、人間

性を参考に選考する。

* 1. ２０２１年度（令和３年度）第２５回青森県選手権水球競技大会
	2. 青森県代表強化合宿
	3. その他強化練習等

２　追加選考など

１）県代表監督は、必要に応じて選手の追加選出をすることができる。

２）県代表監督による第１項の判断は、選考方法の対象大会のみならず、全ての大会・練

習等を参考にする。

３）県代表選手として選出された者が、選考基準第２項３）に該当する行為を行った場合

は、県代表監督が当該選手を県代表選手から除外することができる。

４）県代表監督は、第１項の追加選手及び第３項の除外を行った場合は、その後に開催さ

れる水球委員会に遅延無く報告し、承認を得る。

**Ⅳ　各種練習会及び合宿について**

１　県代表選手として、行う練習会を下記の予定で行う。

１）プール練習（月２～５回）　場所：青森県内及び青森市内プール（近県も有り）

２）ウエイト練習（週２～３回）場所：青森県内及び青森市内トレーニング施設他

２　県代表としての県外強化合宿

１）ＧＷ強化合宿（一般社団法人青森県水泳連盟強化事業他）

２）夏季強化合宿（一般社団法人青森県水泳連盟強化事業他）

３）その他の強化合宿（必要に応じて実施）

**Ⅴ　候補選手該当期間について**

　１　県代表候補選手の期間は令和３年１０月１日～令和４年９月３０日までとする。

２　県代表候補選手は令和３年１２月から１月の間に受け付ける。但し、県代表選手は、高校

三年生終了時まで継続とする。

※継続中に候補選手を辞退したい場合は、監督やスタッフ、所属チーム、保護者

で事情を確認し話し合い、選手本人が不利にならないように考慮する。